

通 告 順	議席番号	通 告 者
1	1 4	鈴 木 邦 昭

## 1 ドクターヘリのランデブーポイント（離着陸場）について

ドクターヘリが本年秋から宮城県でも運行開始する。県ではドクターヘリのランデブーポイントの選定を県内400カ所を目標として進めている。空き地や駐車場、学校のグラウンド等が候補地となっているが、ヘリの離着陸時に砂ぼこりが巻き上がり、散水が必要となる。そのため、ランデブーポイントにアスファルト舗装や芝生化、さらに周辺住民に周知する看板の設置も考えられる。このことについて以下5点質問する。

- (1) 本町ではドクターヘリが着陸し、救急車と合流するランデブーポイントは何カ所予定しているか。(民間が管理する場合も含め)
- (2) ランデブーポイントは数だけではなく質にも注意する必要がある。砂ぼこりが舞うような場所の場合、ドクターヘリが着陸する前に消防ポンプ車による散水が必要であり、時間的なロスが発生する。そのようなランデブーポイントは舗装や芝生化すべきと考えるが、砂ぼこり対策としてどのように考えるか。
- (3) 県は、平成28年度予算にドクターヘリのランデブーポイントの整備費用を盛り込んでいる。ランデブーポイントの改良工事を行う際に、1カ所当たり500万円を上限に助成すると聞いている。本町でもこの予算を活用して整備を進めてはどうか。
- (4) ランデブーポイントを設置した箇所には看板を設置している自治体もある。町民の方々にランデブーポイントの場所を周知するとともに、ドクターヘリの活動について理解を深めるため、設置を検討してはどうか。
- (5) ランデブーポイントの安全確保については原則、消防職員が担当することになっているが、消防職員が対応できない場合、安全確保への協力体制についてどのように考えるか。

## 2 農業用ため池の安全対策について

本年7月、宮城県大衡村の農業用ため池で釣りをしていた父子3人が、釣りの最中に誤って沼に落ち、死亡するという痛ましい事故があった。本町でもため池が数多くあるが、以下の3点について質問する。

- (1) 本町に農業用ため池は何カ所あるのか。また、ため池に対する安全対策は。

(2) 現在、平面の張りブロック仕様のため池がほとんどである。今後ため池を整備する時、転落した場合に脱出可能となるような防災ブロックで整備する考えはあるか。

(3) 日ごろから、万が一を想定し、ため池に危険な箇所がないか常に確認が必要と思われる。本町ではチェックリストを作成し、客観的に確認すべきでないか。

通告順	議席番号	通告者
2	17	佐藤アヤ

## 1 子ども読書の推進について

本町では、未来を担う子どもたちが良い本に出会い、自主的に読書を行うことができるよう、28年3月に子ども読書活動推進計画を策定した。そこで以下の4点について伺う。

- (1) 今後の取り組みと周知は。
- (2) 小学校入学時に「町立図書館利用カード」が受理できる学校長からの在学証明書を発行してはどうか。
- (3) 楽しみながら読書意欲を高めるために、自分が読んだ本のタイトルや貸出日が記録できる「読書通帳」を導入してはどうか。
- (4) 本町の小学校6校のうち、4校は学校図書室専任の職員が配置されているが、今後全学校に配置する考えはあるか。

## 2 学校教育環境の整備について

学校教育環境の整備について2点伺う。

- (1) 第5次互理町総合発展計画の中に、「老朽化の度合いにより優先順位を付け、校舎・体育館の整備に努める」とあるが、今後、どの順番で整備するのか具体的な考えを伺う。
- (2) これまでも学校のトイレについて質問してきたが、あまり改修が進んでいないように思われる。1日も早く改修をすべきではないか。

通 告 順	議席番号	通 告 者
3	4	佐 藤 邦 彦

## 1 新たな農業・農村政策における生産調整等の見直しについて

「農林水産業・地域の活力創造プラン」が策定された。平成30年度に米の生産調整が廃止され、農地の集約化や経営の大規模化を促進し、競争力のある強い農業を目指す。農業後継者の確保や耕作放棄地の増大等の解決に向けた構造改革であり、農業政策の大転換である。このことについて次の質問をする。

- (1) 経営所得安定対策および水田フル活用・米政策の見直しについては、米農家の所得減少等から農業経営に大きな影響が懸念される。町の対応、対策をどのように考えているのか。
- (2) 農地の有効活用と経営の効率化のため、担い手への農地集積や耕作放棄地の解消や後継者の育成、集落営農や法人化が急務となる。どのように推進していくのか。

## 2 荒浜地区・吉田東部地区の定住化促進策について

町は震災復興計画に基づき、発展期への事業を展開している。また、第5次亘理町総合発展計画や亘理町まち・ひと・しごと創生総合戦略が策定されたが、被災地区の定住促進は重要課題である。このことについて次の質問をする。

- (1) 被災地区の定住化を促進するため、住環境の整備や移住誘導策、支援策をどのように講じていく考えなのか。

通 告 順	議席番号	通 告 者
4	1 2	大 槻 和 弘

## 1 被災者の医療費一部負担金・介護保険利用料免除の再開について

東日本大震災の被災者医療費一部負担金などの免除措置を再開してはどうか。(国民健康保険医療費一部負担金、後期高齢者医療医療費一部負担金、介護保険利用料)

## 2 震災を受けての耐震化について

- (1) 亶理町耐震改修促進計画の耐震化率の目標として、平成32年度末までに、住宅で95%、町所有建物で100%を目指しているが、どのように具体化するのか。また、これまでの実績としてどのくらい向上したのか。
- (2) 住宅の耐震診断・耐震改修工事の補助事業実績が少ないが、どのように促進するのか。また、耐震シェルター・防災ベッド設置補助金制度を導入してはどうか。

## 3 住民要望の実現について

- (1) 震災後、各区長を通じて、町への住民要望が再開されたがどのくらいあるのか。要望に対応することで町政の活性化につながると思うが、どのくらい事業化されているのか。
- (2) 要望がなかなか通らないという町民の声を聞くが、各区長との懇談の場を増やすなどの対応と、要望に対する回答も丁寧な説明をすべきではないか。

通告順	議席番号	通告者
5	11	鞠子幸則

## 1 震災復興計画について

- (1) 次の事業を今後どのように進めるのか。
- ①防潮林整備事業（吉田浜地区）
  - ②主要交通施設の渋滞緩和対策事業（県道塩釜亶理線）
  - ③避難誘導標識の整備
  - ④土地区画整理事業
  - ⑤定住促進宅地造成事業（下郡南地区）
  - ⑥新マラソンコース設定事業
  - ⑦介護予防拠点施設建設事業
  - ⑧ゆうゆう作業所改築工事
  - ⑨亶理インターチェンジ周辺工場集積事業

(2) 計画の進捗状況について、震災復興本部でどのように評価しているのか。また、復興推進会議でどのような意見が出ているのか。

(3) 2020年度まで、どのような事業を重視して行うのか。

## 2 介護保険について

(1) 「介護予防・日常生活支援総合事業」について、①要支援者、二次予防対象者、一般高齢者へのサービスを低下させない、②地域包括支援センターを充実させることを踏まえて行ってはどうか。

(2) 政府に対して、①要介護1・2の在宅サービスを保険給付から外し、生活援助や福祉用具の貸与を原則自己負担にする、②要介護1・2のデイサービスを地域支援事業化する、③介護保険の利用料を一律2割負担にすることなどを行わないように要請してはどうか。

## 3 子ども医療費助成について

(1) 対象を入院・通院とも18歳まで拡大してはどうか。

(2) 所得制限をなくしてはどうか。